



日本聖公会東京教区 **聖アンデレ教会**
 牧師 司祭フランシス下条裕章 牧師補 執事ズンナ中村真希
 〒105-0011東京都港区芝公園 3-6-18
 電話03-3431-2822 FAX 03-3434-5698
 E-mail:st-andrew.tko@nssk.org
 電話礼拝 03-3431-0250
 Web:http://www.st-andrew-tokyo.com

復活節第5主日
 2022年5月15日

礼拝案内

礼拝参加にあたって

※教会ホームページより動画で配信されています。
 (映像に映りたくない方は、その旨お伝えください。)
 ※歌いまたは唱えるところは、小声で、または心の中で唱えます。
 ※マスクを着用し、礼拝中、席の移動はお控えください。
 ※体調や気分の不調のときは、遠慮なくお申し出ください。
 ※詳しくは、「礼拝参加にあたって(2022年5月)」等をお読みください。

↑午前7時30分 聖餐式
 聖歌 170 493 171
 司式・説教：司祭 下条裕章

↑午前9時15分
 こどもとともにささげる礼拝
 (第2・第4日曜/お休み)

↑午前10時30分 聖餐式
 司式：司祭 下条裕章
 入堂聖歌 170

参入 1頁(162頁)
 清めの祈り 1頁(162頁)
 キリエ 2頁(163頁)
 大栄光の歌 3頁(164頁)

特禱

全能の神よ、あなたをまことに知ることは、永遠の命に至る道です。どうかわたしたちが、み子イエス・キリストは道であり、真理であり、命であることを深く知ってみ跡に従い、永遠の命に至る道を絶えず進むことができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。 アーメン

み言葉

使徒言行録 13章 44-52節
 詩編 第145編 1-9 (週報4面)
 使徒書 黙 19章 1,4-9節

福音書前聖歌 489
 福音書 ヨハ 13章 31-35節
 説教 司祭 下条裕章
 ニケヤ信経 9頁(166頁)
 <諸報告>
 代禱 (週報2面) 12頁(168頁)
 懺悔 13頁(170頁)
 聖餐
 平和の挨拶 15頁(171頁)
 奉献聖歌 493
 奉献 15頁(172頁)
 感謝聖別 [I] / [II] 16(173/176)頁

陪餐にあたって

※マスク着用のまま、お互いの距離をとり、案内に従って座席後方の通路を経て中央通路を聖卓に進みます。
 ※祝福を希望される方も同様に進みます。
 ※陪餐の直前にマスクを外し、手指を消毒します。
 ※手のひらで、司祭からパン、またはぶどう酒に浸したパンを受けます。
 ※マスクを着け(必要があれば手指を消毒し)席に最も近い通路部分を通して席に戻ります。

陪餐聖歌 488
 感謝 28頁(182頁)
 祝福 28頁(183頁)
 派遣
 退堂聖歌 171

↑午後5時 夕の礼拝
 詩 8, 84 知 7:22-8:1 ヘブ 12:1-14
 聖歌 489

聖アンデレ教会にはじめて来られた方へ

ようこそ教会へお越しくださいました。歓迎します。お聞きになりたいこと、分からないことなどありましたら、受付担当者までお声がけください。
 洗礼・堅信を受け、陪餐の許しのある方は、パンとぶどう酒をいただきます。また他の教派の教会で洗礼を受けて聖餐に与っている方の陪餐を許可し歓迎します。

本日の代祷 <敬称略>

一同立つ。

執事は次のように言う。司祭または会衆の代表者が言ってもよい。

執事 救い主イエス・キリストのみ言葉とみ業に頼り、全公会のため、また世界のために祈りましょう

ここで「一のために黙祷しましょう」と言って、感謝と代祷の項目をあげ、会衆に黙祷を求めてもよい。また会衆に感謝と代祷の題目を求めてもよい。黙祷に代えて祈り書中の適当な祈りを用いてもよい。

「ことに」の後に適当な名前をあげてもよい。

※（ ）内は音読しなくてもよい。

<わたしたち教会 - 全公会のため>

代祷者 神よ、主の公会、ことに

[聖アンデレ教会 (フランシスコ・ザビエル高橋宏幸司祭 / スザンナ中村真希執事、トマス日高馨輔執事)]

わたしたち教会の宣教・奉仕の働き

教会と教会に関わる諸団体の働き

[東京教区(フランシスコ・ザビエル高橋宏幸主教)]

教区成立記念日 (5月17日) を覚えて、高橋宏幸主教と東京教区のすべての働きのため

聖アンデレ主教座聖堂、教区事務所

聖オルバン教会 (マイケル・D・モイアー司祭)

阿佐ヶ谷聖ペテロ教会、インマヌエル新生教会

[東日本宣教協働区(北海道・東北・北関東・東京教区)]

各教区と宣教協働委員会の働き

北関東教区の教会、施設の働き、ことに下館聖公会、小山祈りの家

[日本聖公会 (首座主教ルカ武藤謙一主教)]

京都教区 ステパノ高地敬主教と教区のすべての教会、施設の働きのため

[アメリカ聖公会メリーランド教区

(ユージン・テラー・サットン主教)]

ラクストン 良い羊飼い教会

ダラニー・バレー 顕現教会

[エルサレムおよび中東聖公会

(ホサム・ナウム大主教)]

エルサレム 聖ジョージ学院

[全世界の聖公会

(ジャスティン・ウェルビー カンタベリー大主教)]

スコットランド聖公会のため

[日本キリスト教協議会 (NCC) の働き]

NCC 文書事業部

NCC 部落差別問題委員会

を強めて、み子のみ業を行わせてください。すべての聖職と信徒、ことにわたしたちの主教

フランシスコ・ザビエル

を導き、み名を呼ぶ者を主の真理と愛のうちに一致させ、日々主の栄光をこの世に現す者とならせてください

会衆 主よ、お聞きください

各応唱の後に、しばらく黙祷してもよい。

<平和と正義の実現のため>

代祷者 神よ、すべての国の人びと、ことに

戦争の終結、世界の平和と和解の実現のため

日本国と世界各国・地域の人びと、ことにそれ

らの指導的立場の人びと

に知恵を与えて正義と平和の道に導いてください。

互いに尊敬する心を与え、ともにすべての人の幸いを求めさせてください

会衆 主よ、お聞きください

<隣り人のため>

代祷者 神よ、わたしたちと家族、すべての友人と隣り人、ことに

日々を共に暮らし、また離れて暮らすそれぞれの

家族、友人、同僚、心にかけている人びと

愛と平和と正義の実現のために働く人びと

困難な人びとを支える働きのため、浅草聖ヨハネ

教会日曜給食活動、こども食堂等に関わる人びと

洗礼、堅信、初陪餐、結婚の準備をしている人、

また入信の志願者が与えられるため

聖アンデレ教会に連なるすべての人びと

この地域で生活し、働いている人びと

[今月の代祷・信施奉獻先]

・神学校のため (復活節第4主日)

・教区こどもたちへの活動のため

(東京教区 SS ネットワーク)

・教区中高生世代活動のため

(教区中高生キャンプ準備会)

・カルト問題キリスト教連絡会の働きのため

・アジア・エキュメニカル週間

(5.29~6.4 / 日本キリスト教協議会 NCC)

に恵みを与え、ともに主を知り、主に仕え、互いに愛することができるようにしてください

会衆 主よ、お聞きください

<困難な状況にある人のため>

代祷者 神よ、悩む人、悲しむ人、病気の人の、貧しい人、その他災いの中にある人びと、ことに

感染症の収束のため、療養中、困難や悲しみの中

にある人びと、医療と看護、支援に携わる人びと

戦争や暴力、犯罪や差別、また軍事基地の存在の

ため、いのちの危険を感じている人びと
震災や風水害、世界各地の自然災害、また原子力
発電所事故のため、困難な状況にある人びと
孤独な人、祈りの友のない人、希望を見失いつつ
ある人びと
自由を奪われ、拘束されている人びと
住む場所を追われた人びと

[病床にある人]
を顧み、み力を与えて、勇気と希望を増し加え、
主の救いの喜びに導いてください
会衆 主よ、お聞きください

<逝去者のため>

代祷者 神よ、世を去ったすべての人、ことに
[今週逝去の記念日を迎える方々]

戦争や暴力の犠牲となった人
を顧み、彼らの上に主の愛のみ旨を成し遂げてください。
わたしたちは主の証人たちに与えられた主の
恵みのゆえに、み名をたたえます。どうか、わたした
ちも、彼らとの交わりを保ち、ともにみ国の栄光にあ
ずからせてください

一同 主よ、これらのことをみ子イエス・キリスト
によってお願いいたします アーメン

<お知らせ>

- ◇ 聖アンデレ教会の将来計画説明会「西側崖地の安全対策と牧師館の老朽化問題を考える」の第一回説明会が6月5日と12日の正午から、礼拝堂で行われます。ご参加ください。(2回とも同じ内容になります。ホームページより動画配信)
- ◇ 礼拝参加については「礼拝参加にあたって(2022年5月)」(掲示/教会ホームページに掲載)をご参照ください。
- ◇ 聖堂の扉は、日中(朝8時頃から夕方5時頃)開いています。個人の祈りや黙想が可能です。
- ◇ 聖堂の様子は、動画配信されています。教会ホームページの「礼拝ライブ配信」をクリックすると見ることができます。
- ◇ 主日・週日の礼拝は、上の動画配信のほか、礼拝電話(03-3431-0250)から音声を聴くことができます。
- ◇ 「週報」をメール(またはFAX)で受け取ることを希望される方は教会までご連絡ください。(教会ホームページには毎週掲載されています。)
- ◇ 教会連絡網への登録をお願いします。メールでの連絡(お知らせ、訃報等)をご希望の方はst.andrews.tokyo.office@gmail.comへ、(FAXで連絡をご希望の方は教会FAXへ)お名前と連絡先をお知らせください。
- ◇ 住所・連絡先に変更がありますときは、教会まで早速ご連絡ください。
- ◇ ご家族・少人数での記念式や礼拝参加、牧会訪問、自宅や病床での陪餐を希望される方は教会までご連絡ください。
- ◇ 聖アンデレ教会広報チャンネルでは、様々な情報を配信中です。「今、福音に聴く—ルカによる福音書の通読とメッセージ—」ほか。日々の信仰生活にお役立てください。

聖アンデレ教会広報チャンネル



<https://youtu.be/HojoyQiXqSC4>

- ◇ 聖アンデレ教会フェイスブックページから、折々の教会の様子やお知らせをお伝えしています。

聖アンデレ教会フェイスブック



<https://www.facebook.com/st.andrews.tokyo>

詩編 第145編 1-9

- 1 わたしの神、王よ、あなたをあがめ // わたしは
世々にみ名をたたえる
- 2 日ごとにあなたをたたえ // 世々にみ名をほめ歌う
- 3 主は偉大、すべてを超えてたたえられる方 //
その偉大さは計り知れない
- 4 今の世は次の世にあなたのみ業を語り告げ //
あなたの偉大な力を告げ知らせる
- 5 人びとはあなたの栄光の輝きを告げ // わたしは
不思議なみ業を思い巡らす
- 6 人びとはあなたの恐るべき力を語り // わたしは
その偉大さを宣べ伝える
- 7 人びとはあなたの豊かな恵みを思い // 喜んで
あなたの正義を歌う
- 8 主は恵みと憐れみに満ち // 怒るに遅く、慈しみ
深い
- 9 主の恵みはすべてのものに及び // 慈しみは
造られたすべてのものの上にある

本日・今週の予定

15日(日) 復活節第5主日

- 7時半 聖餐式
10時半 聖餐式
17時 夕の礼拝

13時半 教会委員会

16日(月) 7時半 礼拝

使 14:5-18 詩 118:1-3,14-15 ヨハ 14:21-26
※中村執事聖路加出勤日

午前中 外出予定(葬儀・下条)
19時 宣教協働小委員会(中村・ZOOM)

17日(火) 東京教区成立記念日

7時半 礼拝

使 14:19-28 詩 145:10-21 ヨハ 14:27-31

撮影・収録(下条・中村)

18日(水)

使 15:1-6 詩 122:1-5 ヨハ 15:1-8
10時半 教区レクイエム
※午後下条司祭定休

14時 神学院校友会(下条)

19日(木) 7時半 礼拝

使 15:7-21 詩 96:1-3,7-10 ヨハ 15:9-11

- 10時 洗礼準備(ZOOM)
14時 洗礼準備
19時 ピルグリムネット講座(ZOOM)

20日(金) 7時半 礼拝

使 15:22-31 詩 57:7-11 ヨハ 15:12-17

13時半 納骨式

21日(土) 7時半 礼拝

使 16:1-10 詩 100 ヨハ 15:18-21

10時半 記念式
12時 納骨式

22日(日) 復活節第6主日

- 7時半 聖餐式
9時15分 こどもとともにささげる礼拝
10時半 聖餐式
使 14:8-18 詩 67
黙 21:22-22:5 ヨハ 14:23-29
入堂聖歌 166 奉献聖歌 272 退堂聖歌 542
17時 夕の礼拝

12時半 BS面接(下条)
13時 城南教会グループ協議会(ZOOM)
15時 城南教会グループ教役者歓送迎会(ZOOM)

今週のメッセージ

今日の福音書の箇所は、告別説教と呼ばれている部分の冒頭にあたります。この後、数章にわたって、弟子たちに語られた最後の教えが記されています。過越祭の前の夕食の席でこれらの話をされたあと、弟子たちとともにゲッセマネと呼ばれる園へ移動。そこでイエスは捕らえられ、やがて十字架にかけられることとなります。受難と復活は、父と子が一体であることを示すもの、栄光があらわされる時であるとイエスは話されます。そして弟子たちに決別を告げるとともに、弟子たちに新しい掟・愛の戒めを示されています。それは、イエスを囲む交わりが、イエスの死をもって終焉するものではなく、その死の意味を知った弟子たちを新しい交わりへと促す言葉でもありました。その交わりの中で弟子たちのあり方を示すのが愛という言葉であるといえるでしょう。

さて、この愛の教えは、最後の晩餐の席で弟子たちに語られたのですが、主はただ言葉だけでそれを伝えようとしたわけではありませんでした。ヨハネによる福音書は、最後の晩餐のはじまりをこんな言葉で伝えています。「さて、過越祭の前のことである。イエスは、この世から父のもとへ移る御自分の時が来たことを悟り、世にいる弟子たちを愛して、この上なく愛し抜かれた。」(ヨハネ 13:1)と。そして、その愛の姿を表す異例の出来事として、弟子たちの足を洗う主イエスの様子を伝え、弟子たちが互いに仕えあうことを求めておられます。この姿勢に愛が宿るということです。イエスが最後の晩餐の中で示された愛の教えとその姿勢は、パンを裂き分かち合う食事の席を通して、弟子たちに印象深く伝えられました。それらは、主の死とよみがえりによってより確かなあり方として、主に従う者たちに、そしてわたしたち教会に受け継がれ、記念されてゆきます。「互いに愛し合うならば、それによってあなたがたがわたしの弟子であることを、皆が知るようになる」(ヨハネ 13:35)

主イエスは、生と死とよみがえり、命をかけたその愛のうちに、今日も、この食卓にわたしたちを招いてくださいます。わたしたちとともにあって、わたしたち教会を神の愛を伝える器として活かすために。司祭 フランシス下条裕章